

# 社教連会報

発行 社団法人 全国社会教育委員連合

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-3  
国立教育会館内 TEL 03-3580-0608

## 社会教育委員の

## 今日的役割

全国社会教育委員連合副会長

永田卓夫



永田卓夫（ながた たくお）

大正10年 島根県生れ

昭和46年から4期16年間、鳥取県議会議員

昭和63年から米子市社会教育委員

平成元年から米子市福生西公民館長

平成10年鳥取県社会教育委員連絡協議会会長

平成11年11月文部大臣表彰（社会教育功労受章）

人間は学習する動物であり、学習は人間の特権であるともいわれています。二十一世紀を間近にし社会の激しい変化とともに、学習の必然性は増大し、子どもから高齢者に至るまで、学ぶことが日常茶飯事になる社会、すなわち、「生涯学習社会」を迎えます。

また、生涯を通じ、いつでも、どこでも、だれもが学べる学習を「まち」全体で進めることが「生涯学習のまちづくり」であり、その役割を担うのは社会教育委員ではないでしょうか。

今日、ともすれば社会教育委員の制度の形がいわれ、委員の活動も一部を除いて一般的には沈静化

しているといわれています。今日まで一定の役割を果たした「社会教育法」も、昨年、社会の変化に対応するため改正されました。

社会教育委員の任務は社会教育法で定められていますが、その職務のほかにも「生涯学習社会」を迎えた今日、あらためて多くの役割が期待されています。

一つは、社会教育施設の運営をはじめ、社会教育行政に、多様な方法で住民参加を推進すること。

二つは、地域住民の学習に対応するため、住民の学習ニーズを的確に把握し活動すること。

三つは、社会教育基盤の整備を推進するため、学習環境（人的・物的）

の整備を側面から支援する。

四つは、社会教育行政と民間や地域をつなぐ架け橋となるとともに、学・社連携（融合）を積極的に推進すること。

五つは、委員としての調査活動や、ボランティアとしての個人的な社会教育活動を行うこと。特に、公民館活動と連携し、活用すること。

以上のような事柄は、社会教育委員がコミュニティ形成の推進者としての役割を大きく期待されていること、それはまた、委員としての今日的使命であることを銘記すべきであります。

第四二回(平成一二年度)全国社会教育研究大会「栃木大会」

「新しい世紀への飛翔」をスローガンに  
麗しの栃木路宇都宮市で開催される

研究主題 「二一世紀における社会教育を求めて」

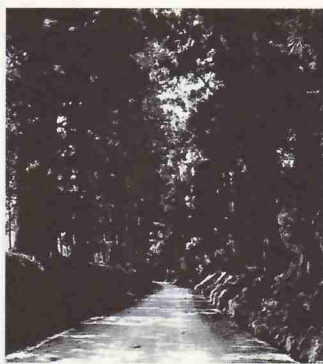
期日 平成一二年度一〇月一八日(水)～二〇日(金)

会場 宇都宮市文化会館・他

魅力の栃木路

平成一二年度、第四二回全国社会教育研究大会(関東甲信越静ブロック大会併催)は、麗しの栃木路の政治・経済・学術・文化の中心地として、限らない発展を遂げつつある、潤いと活力に満ちた北関東随一の中核都市、人口五〇万を目指す栃木県宇都宮市で開催されます。

栃木県は、秀麗なる日光・那須の山並と関東平野の広大な丘陵、県央を南下する鬼怒の清流等の自然に恵



東照宮参詣の象徴日光杉並木街道(国特別史跡・特別天然記念物)

まれ、日本で唯一古くから学校と呼ばれた史跡「足利学校」、日光を見ずして「けっこう」と言う勿れといわれる世界文化遺産の東照宮・輪王寺をはじめとする古刹、民芸のメッカと世界に名声を高めた陶芸家浜田庄司先生の陶源郷・益子焼きの里、日本屈指の温泉郷を誇る日光・鬼怒川・塩原・那須の銘泉の数々、美術館の散在する文化の香り高い那須高原は第二の軽井沢として、国内外の人が訪れる益子は五〇〇余の窯と店を有し終日賑わいを見せるなど、歴史と文化と観光に衆目すべきものも多い。幸いに錦秋の好季と相俟って、麗しの栃木路宇都宮市での大会を一層魅力あるものとして華を添える事でしょう。

シンポジウム・部会  
大会は、二〇〇〇余名を収容出来

る宇都宮市文化会館をメイン会場とし、栃木県総合文化センター、栃木会館等の県及び市の施設を部会場としながら、「新しい世紀への飛翔」の大会スローガンのもとに「二一世紀における社会教育を求めて」を研究主題として、一〇月一八日(水)から二〇日(金)までの三日間にわたり、全国各地からの参加者が一堂に会して研究討議を行います。

大会第一日目は開会行事と表彰、シンポジウムにアトラクション。  
シンポジウムは、「二一世紀を開くこれからの社会教育を考える」(二一世紀の地域づくりは社会教育になにを求めるか)をテーマに、淑徳短期大学教授浅井経子さんをコーディネーターとして、宇都宮市長福田富一氏、宇都宮大学教授中村清氏、フリーアナウンサー白井佳子さんをシンポジストに迎えて行い、アトラクションは郷土の八木節、巻狩太鼓を披露いたします。

第二日目は部会討議。  
第一部会では、多様化、活性化する生涯学習を支援する体制についての対応と課題について討議します。  
第二部会では、家庭教育の充実と学校・家庭・地域が連携した青少年教育について考えます。

第三部会では、成人の学習支援について、少子化・高齢化時代の問題として高齢者の生きがいづくりと社会参加活動や人間関係など社会教育のあり方について。  
第四部会では生涯学習と国際化の進展について、国際相互理解と交流のあり方を外国人との実践的活動を通じて考えてみる。  
第五部会では人権を尊重し、明るく地域づくりをめざした社会教育のあり方について考える。  
第六部会では、生涯学習によるまちづくり。地域の特性を生かした魅力あるまちづくりと生涯学習のあり方。生涯学習を視点に学校・家庭・地域の連携とまちづくりについて考えます。  
第七部会では、地域における郷土文化の伝承と新たな文化の創造や生

部会一覽

- |    |                  |
|----|------------------|
| 1  | 生涯学習を支援する体制づくり   |
| 2  | 学校・家庭・地域で子どもを育てる |
| 3  | 成人学習の支援          |
| 4  | 生涯学習と国際化の進展      |
| 5  | 生涯学習と人権学習        |
| 6  | 生涯学習とまちづくり       |
| 7  | 郷土文化と生涯スポーツ      |
| 8  | 生涯学習とボランティア活動    |
| 9  | 男女共同参画社会づくり      |
| 10 | 時代の変化に対応した社会教育   |



平成12年度各ブロック社会教育研究大会・準備状況

地区	研究主題	期 日	会 場	講 演 等	分 科 会	参加料	大会事務局
北海道ブロック	「生涯学習社会の構築における社会教育行政の中核的役割を考える」	平成12年 10月26日(木) ～27日(金)	北海道伊達市 だて歴史の杜 カルチャーセ ンターほか	基調講演 札幌国際 大学社会・人文学部 教授小山忠弘氏 講話 伊達市教育委 員会文化課長(医学 博士) 大島直行氏	1子育て支援 2 青少年の 学校外活動 3 ボランティ ア活動 4 学社融合 5 リ カレント教育 6 男女共同 参画社会 7 広域社会教育 行政	資料代 3,500円 交歓会 5,000円 (希望者 のみ)	北海道伊達市 教育委員会社 会教育課内 TEL 0142-22-1515
東北ブロック	「生涯学習社会における社会教育の役割を考える」	平成12年 9月19日(火) ～20日(水)	青森市文化会 館ほか	舞の海秀平氏	1生涯学習社会と社会教育 2 ボランティア活動 3 学 社連携・融合 4 地域の活 性化・まちづくり 5 国際 理解・国際交流	3,000円	青森県教育庁 生涯学習課内 TEL 0177-34-9889
東海北陸ブロック	「生涯学習社会の構築をめざした、社会教育の在り方考える」	平成12年 10月12日(木) ～13日(金)	愛知県蒲郡市 市民会館ほか	南山大学教授 安 田文吉氏 「愛知の芸能文化・ 食文化」	1家庭教育 2 高齢者の社会 活動 3 人権教育 4 青少年 教育 5 生涯スポーツ 6 ボ ランティア活動 7 生涯学習 まちづくり 特別部会 社会 教育委員の役割と課題	3,000円	愛知県教育委 員会生涯学習 課内 TEL 052-961-2111 内線 3945
近畿ブロック	「社会の変化に対応した新たな社会教育の推進」	平成12年 8月24日(木) ～25日(金)	兵庫県明石市 市民会館 「アワーズホ ール」ほか	未定	1 地域特性をいかした生涯学 習・まちづくり 2 時代の変 化に対応した青少年教育 3 人 権を基盤とした差別のないま ちづくり 4 成人教育・高齢者 教育の活性化と生きがいの 地域づくり 5 生涯学習の視 点に立ったボランティア活動	2,000円	兵庫県教育委 員会社会教 育・文化財課 TEL 078-362-3782
中国四国ブロック	「地域住民が創る生涯学習社会を目指して」	平成12年 9月13日(水) ～14日(木)	高知県民文化 ホールほか	未定	1 地方分権における社会教育 委員の役割 2 完全学校週5日 制実施に向けた地域活動の充 実 3 家庭・地域社会の教育力 の充実 4 人権を尊重した地 域づくりをめざす社会教育 活動(シンポジウム)「地域 づくりに果す社会教育への 期待」	3,000円	高知県教育委 員会生涯学習 課内 TEL 088-821-4745
九州ブロック	「2000年・新たな時代に対応した社会教育を目指して」	平成12年 11月21日(火) ～22日(水)	福岡市民会館 ほか	未定	1 家庭教育 2 青少年教育 3 人権・同和教育 4 学習機 会・情報の提供 5 社会参加 の促進 6 特別部会(シン ポジウム)	3,000円	福岡県教育委 員会生涯学習 課 TEL 092-643-3887

涯スポーツの活性化につ  
いて。

第八部会は、生涯学習と  
ボランティア活動につい  
て、人々の学習を支援する  
人材の育成と活動の場づく  
り、青少年の地域活動とし  
てのボランティアについて  
考える。

第九部会は、男女共同参  
画社会づくりを支援する生  
涯学習のあり方、団体・サ  
ークル活動の充実を図る方  
策について。

第一〇部会では、二一世  
紀を目前にして、様々な社  
会の変化に対応したこれか  
らの社会教育について考え  
てみたいと思います。

各部会の事例発表は、関  
東甲信越静ブロックの一部  
一〇県が分担します。それ  
らを研究の糸口として、参  
加者による活発な討議によ  
って、部会内容を一層深化  
させてくれるものと信じま  
す。

特色ある第一〇部会

第一〇部会は、他の部会

とは討議の仕方を異にして、参加者  
が主体的・積極的に発言をしながら  
研究討議の出来る「パス・セッション  
方式」などを試案中です。その理  
由は部会の持ち方に起因すること  
ですが、どうしても参加者にとっては  
受動的態度つまり承り研究になっ  
ている反省からです。

研究大会のあり方については、全  
国・各ブロック・都道府県等の研究  
主題・討議内容や方法について、今  
後一考を要する問題と思われま  
す。本大会が図らずも二〇世紀最後  
という記念すべき世紀の節目に当  
り、それにふさわしい意義ある大会  
にしたいものと念じつつ、最後の準  
備に取り組んでいます。

第三日目の記念講演には、日光東  
照宮禰宜・文庫長の高藤晴俊氏を迎  
え、「世界文化遺産・日光東照宮の  
謎」と題して、興味深いお話を予定  
しています。

全国各地から多数の参加者を迎え  
て、錦秋に彩られた麗しの栃木路で  
「出逢い、輝きあつて」感動のドラ  
マを共有出来る日を待ち侘びなが  
ら、ご案内いたします。

第四二回全国社会教育研究大会実行委員長  
栃木県社会教育委員協議会会長

秋山 一夫

(表1) 回収率

	全 体	都道府県 政令指定都市	市区町村 (25%抽出)
調査数	863	59	804
回答数	745	58	687
回収率	86.3%	98.3%	85.4%

(表2) 設置率 ( )内は%

	全 体	都道府県 政令指定都市	市区町村
計	745 (100)	58	687
設置されている	742 (99.6)	58	684
設置されていない	3 (0.4)	0	3

(表3) 委員の実人員 ( )内は%

	全 体	都道府県 政令指定都市	市区町村
計	742 (100)	58	684
1～5人	55 (7.4)	0	55
6～10人	306 (41.2)	8	298
11～15人	226 (30.5)	16	210
16～20人	112 (15.1)	24	88
21～25人	20 (2.7)	5	15
26～30人	6 (0.8)	3	3
無回答・不明	17 (2.3)	2	15

(表4) 委員の男女別割合 単位:人 ( )内は%

	全 体	都道府県 政令指定都市	市区町村
計	8,457 (100)	1,018 (100)	7,439 (100)
男性	6,265 (74.1)	663 (65.1)	5,602 (75.3)
女性	2,192 (25.9)	355 (34.9)	1,837 (24.7)

調査は都道府県・政令指定都市は全数、その他の市区町村は二五%の抽出で行い、回収率は全体で八六・三%であった。(表1)

社会教育委員の設置状況は、九・六%である。(表2)

社会教育委員の実人員は六人〜一人が四一・二%でもっとも多い。(表3)

男女の割合は、全体で男性が七四・一%、女性が二五・九%。女性の比率は、都道府県・政令指定都市のほうが、市区町村より一〇%高い。(表4)

(社) 全国社会教育委員連合は、平成一一年度、文部省の委嘱(生涯学習活動の促進に関する研究開発)を受けて、「社会教育委員に関する調査」を実施した。昨年九月に「調査委員会」を設置、一月一五日現在で調査を依頼、回収した。その結果の一部をお知らせする。

# 社会教育委員に関する調査(速報)

(表5) 定例会議の回数 ( )内は%

	全 体	都道府県 政令指定都市	市区町村
計	742 (100)	58	684
0回	11 (1.5)	1	10
1回	85 (11.5)	6	79
2回	237 (31.9)	19	218
3回	194 (26.1)	14	180
4回	111 (15.0)	7	104
5回	33 (4.4)	2	31
6回	30 (4.0)	4	26
7～10回	20 (2.7)	4	16
11～30回	14 (1.9)	1	13
無回答	7 (0.9)	0	7



(表6) 報酬額(1回当り)

( )内は%

	全体	都道府県 政令指定都市	市区町村
計	742 (100)	58	684
5,000円未満	138 (18.6)	0	138
5,000円以上10,000円未満	482 (65.0)	15	467
10,000円以上15,000円未満	63 (8.5)	34	29
15,000円以上20,000円未満	17 (2.3)	5	12
20,000円以上	19 (2.6)	3	16
不明	23 (3.0)	1	22

(表7) 各号委員の割合と公募委員(内数)

単位:人(カッコ内は%)

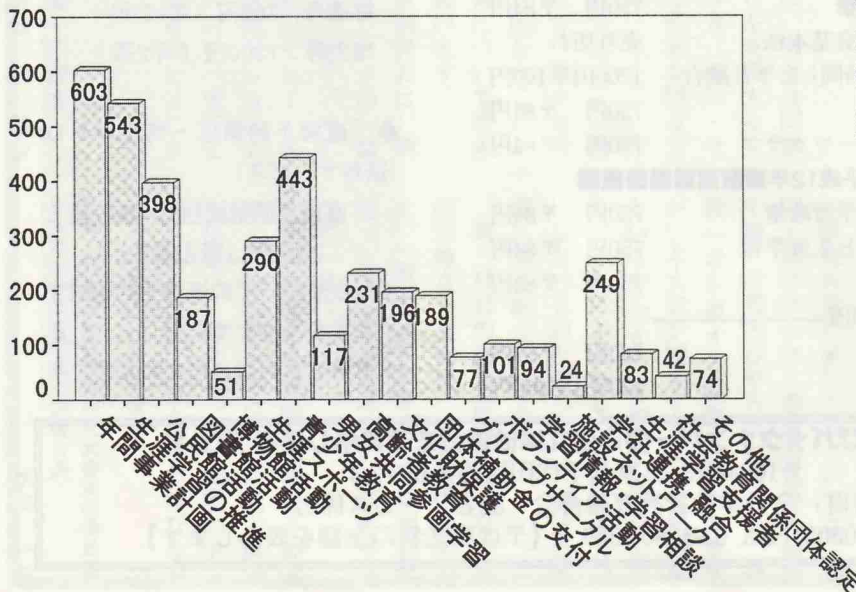
	全体		都道府県 政令指定都市		市区町村	
	各委員	公募	各委員	公募	各委員	公募
計	8,718 (100)	187 (100)	964	2	7,754	185
①1号委員	1,548 (17.8)	46 (24.6)	149	0	1,399	46
②2号委員	3,494 (40.1)	80 (42.8)	295	0	3,199	80
③3号委員	3,676 (42.2)	61 (32.6)	520	2	3,156	59

(表8) 法改正による委員構成の変化

(カッコ内は%)

	全体	都道府県 政令指定都市	市区町村
計	742 (100)	58	684
変化がある	181 (24.4)	24	157
変化がない	259 (34.9)	10	249
わからない	259 (34.9)	20	239
無回答・不明	43 (5.8)	4	39

(図1) 委員の会議の主な議題(複数回答)



年間の会議回数は二〜三回のところが多い。(表5)  
一回あたりの報酬額は、五〇〇〇〜一〇〇〇〇円未満が六五・〇%でもっとも多い。(表6)  
各号委員の割合と、その内の公募委員の数は(表7)のとおりであった。

(表4)と(表7)は別の設問の回答を集計したものであるため、人数に多少の違いがある。  
平成一一年七月の社会教育法改正(施行は一二年四月)で、一号・二号・三号委員の区別がなくなる。この改正で委員の構成に変化があるかどうか聞いたところ、全体で「変化

がある」としたものが二四・四%、「変化がない」が三四・九%、「わからない」がおなじく三四・九%であった。都道府県・政令指定都市では、二四自治体(四一・四%)が「変化がある」とこたえている。(表8)  
図1は、平成一一年度の社会教育委員の会議の主な議題(複数回答)。

もっとも多かったのが「年間事業計画」。ついで「生涯学習の推進」「青少年教育」「公民館活動」となっている。  
(この速報は「調査委員会」の蛭田道春、谷井淳一、山本和人各氏の協力により作成した。)





# 社教連のうごき (平成11年度後半)

## 社会教育研究大会

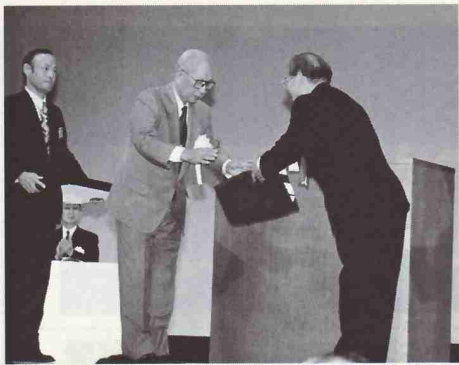
第41回(平成11年度)全国社会教育研究大会(米子大会)

期日 平成11年10月13日(水)～15日(金)  
会場 鳥取県米子市 米子コンベンションセンターほか

全国から二〇〇〇名の参加者を迎え盛大に開催されました。最終日、大会旗が、鳥取県の永田卓夫会長から、次期開催県、栃木県の秋山一夫会長に手渡されました。

## 各ブロック社会教育研究大会

北海道地区(稚内大会)  
平成11年10月7・8日



米子大会閉会式 次期開催県へ大会旗引き渡し

於 稚内総合文化センターほか  
参加者 六二四人

東北地区(福島大会)

平成11年9月16・17日

於 郡山市磐梯グラウンドホテルほか

参加者 六七七人

関東甲信越静地区(長野大会)

平成11年9月16・17日

於 長野市ホテル国際21ほか

参加者 一五二〇人

東海北陸地区(福井大会)

平成11年9月16・17日

於 芦原町芦原観光会館ほか

参加者 一〇八六八

近畿地区(滋賀大会)

平成11年8月18・19日

於 大津市民会館ほか

参加者 一三九二人

九州地区(大分大会)

平成11年9月30・10月1日

於 別府市杉乃井ホテルほか

参加者 一六五〇人

## 平成11年度社教連会長表彰

全国社会教育研究大会(米子大会)の席上、北海道俱知安町の秋山有俊さんほか、全65名の方が鈴木勲会長から表彰を受けられました。当日は、受賞者を代表して、鳥取県東伯町の桑本有常さんが賞状を受け取り、お礼の言葉を述べられました。

## 平成11年度第2回総会

平成11年10月13日、全国社会教育研

究大会(米子大会)終了後、米子ワシントンホテルプラザ「らんの間」に於いて開催されました。議案は2件。

第1議案「第42回(平成12年度)全国研究大会について」

平成12年10月18日(水)～20日(金)、宇都宮市文化会館ほかでの開催が決定しました。

第2議案「第43回(平成13年度)の開催ブロックについて」

九州ブロック(沖縄県)での開催が決まりました(期日は未定)。

つづいて「財政問題検討委員会」の経過報告が、秋山一夫委員長(栃木県)からありました。

(秋山委員長報告)

「(社)全国社会教育委員連合は設立当初から財政問題をかかえていた。基金増強事業もすすめてきたが、最近の低金利に加えて、文部省補助金の削減など、厳しい状況にある。また、全国の社会教育委員にとって、この会の姿がよく見えないという声も聞かれる。そうしたことも踏まえて、新しい財政増強策を検討している。今後さらに検討し、来年度の第1回総会に、何らかの提案が出来るようにしたい。」

## ヨーロッパ社会教育視察団

平成11年度は「25周年記念・国際高齢者年記念」と銘打って実施。平成11年11月10日(水)から20日(土)までの11日間、ロンドン、ローマ、パリを中心に、生涯学習機関、高齢者福祉施設、文化

施設を訪問。参加者は全部で24人(うち社会教育委員は13人)。全員元気で、充実した視察旅行を満喫されました。

詳細は、雑誌「社会教育」平成12年2月号及び3月号の「現地でもたヨーロッパの高齢者福祉・成人教育」をごらんください。また3月1日発行の「社教情報No.42」には、参加された方の視察記が掲載されています。あわせてごらんください。

なお平成12年度の視察団は現在募集中。本紙8ページに詳細な計画が載っております。

## 社会教育委員に関する調査

平成11年度新規事業として、文部省の「生涯学習活動の促進に関する研究開発」の委嘱を受け、「社会教育委員に関する調査」を実施しました。

岡本包治氏を委員長とする「調査委員会」を組織し、調査内容、調査方法等を決定。平成11年12月、全国の都道府県・政令指定都市(全数)と市区町村(25パーセント抽出)に調査依頼。結果の速報は、本紙4～5ページに掲載されています。

## 平成12年度第1回理事会・総会

期日 平成12年5月12日(金)  
会場 ホテルフロンティオン青山  
理事会 午前10時30分  
総会 午後1時

# 2000年ヨーロッパ社会教育視察団参加者募集

## ◆生涯学習◆福祉◆文化

デンマーク スウェーデン フランス  
オランダ—日蘭交流400年—

主 催 (社)全国社会教育委員連合

期 間 2000年(平成12年)11月12日(日)～11月22日(水) 11日間

### 主な視察先

#### デンマーク

- コペンハーゲン市 ・デンマーク社会福祉省
- ・クロンボー城ほか
- オーデンセ市 ・市社会福祉局
- ・デイケアセンター
- ・アンデルセンの家

#### スウェーデン

- マルメ市 ・市社会福祉局
- ・グループホーム

#### オランダ

- アムステルダム市 ・アムステルダム国民大学
- ・高齢者福祉センター
- ・ゴッホ美術館ほか

#### フランス

- パリ市 ・ルーブル美術館
- ・オルセー美術館ほか

目 的 各地の社会教育施設、福祉の現場を訪問し、市民の学習・社会参加の実情を視察する。  
各国の代表的文化施設を見学する。

旅 程 東京(成田)→コペンハーゲン(3泊)→マルメ(1泊)→アムステルダム(3泊)  
→パリ(2泊)→東京(成田)

参加経費 約490,000円を予定(全朝食付)全行程、ベテラン添乗員・ガイド・通訳がご案内します。  
社会教育委員の方には本会から10,000円の助成金があります。

募集人員 20名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

申込先 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-3 国立教育会館内  
(社)全国社会教育委員連合 TEL: 03-3580-0608 FAX: 03-3580-2869  
なお、ご請求いただければ詳細な資料をお送り致します。

申込締切 10月20日(金) 10月下旬都内にて事前説明会を予定。

旅行業務 近畿日本ツーリスト株虎ノ門公務旅行事業部が担当します。